

議 事

「東京宝島」事業の取組状況等について



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS

「東京宝島」事業の概況（全体像）

島しょ地域の隠れた魅力を再発見するとともに付加価値を高め、島しょ地域の活性化を図っていくことを目的として事業を展開

各島ブランド化

島の付加価値を高め、
ブランド化を推進

- ✓ 東京宝島チャレンジプロジェクト
- ✓ 島しょ地域のアクセス多様化に向けた取組
- ✓ 宿泊施設誘致活動支援補助事業
- ✓ 島しょ地域の廃ホテルの撤去等に対する町村支援
- ✓ 地域資源の有効活用等に向けた取組

島しょ製品支援

島しょ製品の磨き上げ

- ✓ 島しょ製品支援事業
- ✓ ブランドサポーターシップ事業



東京宝島 推進委員会

プロモーション

戦略的なPR

- ✓ 国際会議やイベント等での情報発信
- ✓ メディア、SNS (Instagram) インフルエンサーを活用したPR
- ✓ 東京宝島特設ホームページでの情報発信
- ✓ YouTubeチャンネルでの動画発信



サステナブル・アイランド
創造事業

町村の公民共創の
取組を支援

- ✓ サステナブル・アイランド創造事業
- ✓ サステナブル・アイランド推進支援事業



東京宝島チャレンジプロジェクト

○ 目的

各島の地域ブランドコンセプトに基づき実施する、島の付加価値を高め地域の持続的な発展を目指す取組を一步進め、**複数の島しょにまたがる広域的取組を支援**するため、新たなサービスの起業及び事業化に向けたチャレンジを支援

○ 募集対象

観光客の誘致、地域産品の磨き上げ・魅力発信や、関係人口の創出や移住定住の促進に向けた、医療、住宅、仕事等の分野における暮らしやすい地域づくり等、**地域資源を活かした地域産業・経済の活性化**といった、**島しょ地域が抱える地域課題を解決し、一層の魅力向上**につながるプロジェクト

○ 支援内容

- ✓ 原則3カ年のプロジェクト事業費を**上限1億円**支援
- ✓ プロジェクトの実現可能性を高めるため、関連分野に強みを持つ**パートナー企業とのマッチング**を支援
- ✓ 支援期間中の**アドバイザーによる伴走支援**を実施

○ スケジュール

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
6 団体採択	プロジェクト支援		
	3 団体採択	プロジェクト支援	

島スポ ～島でスポーツをしよう～

スポーツ大会やイベント、合宿を継続して企画・運営しつつ、文化体験を充実させることで、身体を共鳴する体験ができる島として**来島を促進**

島内外の交流を促進する
スポーツイベントの開催

スポーツ合宿誘致等に向けたHP、
新たなスポーツ施設の整備

主な実績

令和6、7年度でスポーツイベントを5件開催。
直近では数十万円の黒字を計上



ビーチサッカーイベント
(神津島)

新たなスポーツ施設
(サンドパーク)の整備に向けて土地取得、ビーチスポーツ関係者を複数巻き込んで設計を実施



ビーチスポーツ設計アドバイザー
京都橘大学江口氏

今後の展開

著名人（ビーチスポーツ日本代表の村上氏、原口氏やプロバレーコーチの中村氏等）と連携したイベントの規模拡大、団体の体制拡大を予定



イベントゲスト
(親善大使)

来春、大島にて開業予定
スポーツ合宿の誘致やイベントの開催、島内のスポーツ環境改善に向けて情報発信を強化



完成イメージ
(出典：熊本県のEVOLVE PARK)

再エネで宝島の 災害レジリエンス×ゼロエミ化に貢献

太陽光発電を普及するため、本土・島内事業者の協働体制構築や島内事業者の教育訓練サービスの提供等により、**災害レジリエンスの向上を図る**

本土・島内事業者の協働体制の構築

説明会実施・イベント出展等での認知向上

主な実績

島内事業者向けに太陽光パネル施工訓練を実施。

島内事業者に太陽光パネル設置の実践的なノウハウを共有



施工訓練の様子

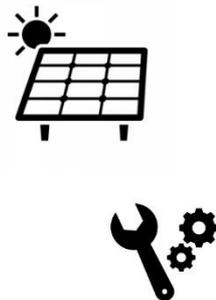
島民・事業者向けの説明会実施や、「東京都・新島村合同防災訓練」など、各種イベントにおけるプロモーションの実施



総合防災訓練の案内

今後の展開

島内事業者が設置から保守まで一貫して対応できる仕組みを整備するとともに、強風・塩害など島しょ地域特有の保守にも対応可能な体制を確立



太陽光発電を島しょ地域で普及させ、台風などの災害に強い体制を整備。「ゼロエミッションアイランド」を目指す



心まで美しく、東京離島リトリート ～年間を通じて島の文化と特産品に触れる美・健康ツーリズム～

東京の離島で「心まで美しくなる時間」を提供。農業体験業と宿泊業等を連動させ、持続可能な事業とすることで、地域雇用や担い手増加を促す

農産物の収穫・販売、 農業体験の提供

新島における宿泊施設整備

主な実績

新島で栽培した「あめりか芋」、「紅はるか」合計約1.5トンの収穫。東京駅構内でのイベントに出展・販売



収穫の様子

コンセプト・ターゲット顧客像を可視化し、ニーズ・価値提供を整理する等の宿泊施設に関する企画構想を実施



企画構想の様子

今後の展開

「農業体験ができる宿泊施設」などによる農業の付加価値向上や、非日常体験の提供を目指す



農業体験

宿泊

来春～夏、新島で開業予定。将来的には他島展開も検討



完成イメージ

(出典：富山県のBed and Craft)

宝島ウイング 物をつなぎ、人をつなぎ、命をつなぐ ～国産ドローン物流の社会実装へ～

式根島にドローン拠点を設置し、本土からのドローン物流を実現。災害時等の円滑な物流網を構築。また、災害時の被害状況確認や3次元データによる観光コンテンツを創出

ドローンを活用した新たな物流網の構築

災害時における被害把握

主な実績

新島-式根島間において、離発着場を整理の上、試験飛行会を実施（令和7年6月）



試験飛行会

島しょ地域での災害時に提供可能なメニューを整理。情報発信のための特設ページを作成し情報を発信



エアロセンス HP

今後の展開

新島-式根島間の定期運航を開始。式根島を拠点とした各島の運航を、令和8年度から順次開始予定



新島防災訓練

災害時の被害状況把握等の活用に加え、施設の点検等の日常的なサービスについても提供予定（令和7・8年度）



飛行トレーニング

見つけよう、地上の星「光るキノコ」！発光生物ツアー

発光生物（光るキノコ等）を活用したナイトタイムツアーを企画し、通年で楽しめる観光コンテンツを拡充。発光生物マッピングアプリを整備し、来島時・非来島時の体験接点を提供

光るキノコモニターツアーの実施

ツアーへの集客経路の 設計・地域産品の開発

主な実績

光るキノコナイト
ウォーク（2ヶ月間）
の開催。
約450名が参加
（内7割が島外参加者）



モニターツアーの様子

ツアーLPサイト等を立ち上げ、ツアー告知から予約受付を一本化。SNSを開設し、ツアー情報等を発信。SNS全体でフォロワー数500超の増加



SNS (Instagram)

今後の展開

顧客価値向上等のツアー内容のブラッシュアップ。
他島でのモニターツアー実施



発光生物調査

LPサイトのSEO対策を強化。産品開発に向けた新キャラクターデザイン制作、グッズ製造、販路開拓を進め、販売を予定



キャラクターデザインイメージ

小笠原カーボンクレジットによる新しい経済価値の創出

森林資源等による二酸化炭素吸収効果を「カーボンクレジット」として認証を取得。
保全活動で発生した廃材をアップサイクル商品として展開

カーボンクレジット登録に向けた 基礎調査の実施

専門家と連携し、小笠原諸島に樹生する樹木の成長量調査や、CO2吸収量の算定方法を確定



成長量調査の様子

小笠原木材を活用した取組のブランド化

木材ブランド「BONINIANS」立上げ。IPとのコラボ商品の開発・販売。木材を活用したリコーダーを開発し、北海道やイギリスでの楽器フェアにて展示

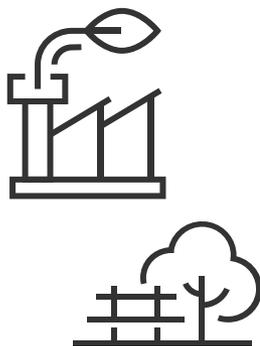


コラボ商品の開発

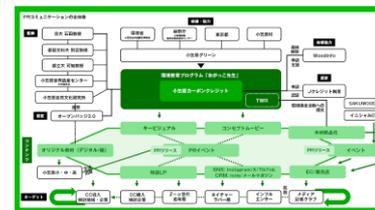
主な実績

今後の展開

森林地権者との交渉を進めるとともに、生物多様性クレジットの導入に向けた調査を実施



BONINIANS商品をおがさわら丸の船内と竹芝にて販売予定。島の子どもたちを軸としたプロモーション施策「おがっこ先生」を推進



PRコミュニケーション
全対象

八丈島産Made in Tokyo RHUMによる地域活性

- ✓ 八丈島内サトウキビを原料に東京産の希少なアグリコールラムを生産
- ✓ 蒸留所&テロワール体験ツーリズムを核に、栽培復興・新規就農支援と連動した「循環型地域経済モデル」を進める

目的・ビジョン

- ✓ 八丈島を含む近隣諸島の地域資源を現代的・世界的文脈にて再定義
- ✓ 「Made in Tokyo RHUM」ブランドを核に農業・酒造・観光が連動する循環型の地域経済モデルを構築

展開予定の島

- 八丈島で展開後、東京宝島広域構想を将来的に実現する方針
- ✓ 各島においてラム酒を一貫生産し、島ごとのテロワールを実現
 - ✓ 各島の原酒をバッティングし、蒸留所をめぐるアイランドホッピングと広域連携を図る

成果目標

- ✓ 農業・酒造・観光で若者の地元就業機会の創出
- ✓ 休耕地活用と副産物循環による環境負荷低下
- ✓ 閑散期にラムツーリズム客を誘客
- ✓ 八丈島ブランド強化と他島展開

島内事業者巻き込み型・訪日客向けツアー造成と販売

- ✓ 既存のインバウンド基盤と地域社会との関係性を活用しつつ、訪日外国人旅行者の利便性向上と島内事業者の主体的な参画を促す仕組みを整備
- ✓ 島しょ地域における持続可能な観光の新たなモデルを構築し、地域に根ざした持続的な経済活動としてインバウンドを定着させる

目的・ビジョン

訪日外国人旅行者の利便性向上と島内事業者の主体的な参画を促す仕組みを整備することで、**伊豆諸島における持続可能な観光の新たなモデルを構築**

展開予定の島

先行展開島で2026年度に実施。
実績を踏まえ、2027年度に2次展開島で実施。

- ✓ 先行展開島：**大島、利島、新島、式根島、神津島**
- ✓ 2次展開島：三宅島、御蔵島、八丈島

成果目標

- ✓ **多数の島内事業者による企画への参加**、それに伴う訪日外国人旅行者の受け入れ抵抗感の払拭とホスピタリティレベルの向上
- ✓ **多言語対応情報の整備**
- ✓ 東京島しょ地域のブランド認知向上

TOKYOアボカドから始まる——島を育てる農業と観光の共創プロジェクト

- ✓ 八丈島をはじめとする島々を、**国産アボカドを軸とした高付加価値農作物の生産拠点**とし、「**TOKYOベジフル**」ブランドを確立
- ✓ **農業・観光・職業・人材をつなぐ持続可能な循環システムを構築**

目的・ビジョン

- ✓ **アボカドの輸入依存状況（99%輸入）の解消**
- ✓ 温暖化により国内での栽培適地は拡大しているものの、アボカド供給地が普及していない現状の改善

展開予定の島

八丈島での展開

その後、三宅島、御蔵島、青ヶ島での展開を予定
→アボカド栽培のノウハウ、農産品の開発、流通環境を提供

成果目標

- ✓ 通年出荷の確立（アボカド、ミニトマト、パッションフルーツ）
- ✓ **新たな名産加工食品の確立**
- ✓ 令和10年度の収益黒字化

島しょ地域のアクセス多様化に向けた取組

目的

- ✓ インバウンド需要の回復を踏まえ、国内外の接続強化や多様な来島手段への対応を図る
- ☞ 令和7年度は「ファムトリップ」と「ビジネスジェット海外見本市への出展」を実施

1 ファムトリップ実施報告

日程：令和7年9月5日（金）～9月9日（火）／4泊5日

招聘者：海外旅行会社エージェント等 10名（北米を中心に世界各国から招聘）

内容：八丈島空港における出入国手続き（CIQ）の検証 ※ロサンゼルス国際空港との往復
へりを活用した八丈島・大島間でのアイランドホッピングの試行



〈海外旅行会社エージェント評価〉

- ✓ 東京の島しょ地域はポテンシャルが高く、日本ツアーの最後の滞在に適している
- ✓ 島ごとに特色が大きく異なるため、「アイランドホッピング」は魅力的な旅行商品になる

- ・ 島しょ地域に海外富裕層を誘致するにはラグジュアリーな宿泊施設が必須
- ・ 八丈島空港で出国手続きが可能であると、海外富裕層の誘致に一定のメリット
- ☞ 一方で、八丈島空港の施設整備や国機関側の体制確保などの課題があり、実現に時間を要する

⇒ 令和8年度については、他地域の国際空港と連携したファムトリップを実施（R8予算要求）

島しょ地域のアクセス多様化に向けた取組

2 BJ海外見本市「NBAA-BACE」への出展

日 程：令和7年10月14日（火）～10月16日（木）／3日間

会 場：Las Vegas Convention Center（米国 ネバダ州 ラスベガス）

想定来場者：約20,000人（BJ・航空関係者）

- 内 容：
- ・BJの周遊先として、東京島しょ地域をPRするブースを設置
 - ・各出展団体を訪問し、BJ誘致に向けた意見交換の実施
 - ・NBAA会長・副会長との面会・意見交換を実施



■ 当日の様子

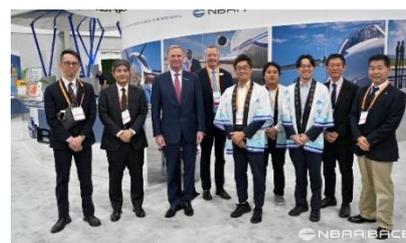
✓ 都のブースへの来訪や各出展団体への訪問によって、多くのBJ関係者とコネクションを形成



▲ 島しょPRブース



▲ 出展団体への訪問



▲ NBAA会長との面会

▼ 意見交換の様子



<主な意見>

- ・日本は何度か訪問したことがあるが、東京の近くに素晴らしい島があることを知らなかった
- ・島しょ地域にBJを誘致するには、BJ関係者に空港サービス面を含めたプランをPRすると効果的

東京宝島 サステナブル・アイランド創造事業

○ 目的

島しょ地域を取り巻く課題や地理的制約を克服するため、町村の意欲的な**公民共創の取組**を支援し、にぎわいと活力に満ち溢れた**持続可能な地域社会を創出**

○ 令和7年度の取組

- ✓ サステナブル・アイランド創造事業により、島しょ地域の持続的発展の土台となる基盤整備が大きく前進
- ✓ 一方で、施設整備が中心となり、ソフト事業に十分注力ができず

- 
- **島しょのプレゼンスを向上させ地域の振興を図るため、創造事業に継続する支援を開始**
 - ・ 整備した施設の本格的な利用とともに、ソフト事業の多面的・複合的な展開で島しょ地域が抱える課題に対処し、より高い持続的発展と新たな価値創造を目指す

【全体構成】

サステナブル・アイランド創造事業

補助メニュー①

サステナブル・アイランド創造事業費補助金

補助メニュー②

サステナブル・アイランド推進支援事業費補助金

○ 補助概要

① サステナブル・アイランド創造事業費補助金

- 補助期間：最長 **3年間**
- 補助上限額：1 町村あたり **5億円**（3年間総額） ※基盤整備を伴わない場合は1億円
- 補助率：10/10
- 補助対象事業：地域産業や経済の活性化につながる事業
先端技術やデジタル技術を活用し、社会課題の解決等へとつながる事業 など

② サステナブル・アイランド推進支援事業費補助金

- 補助期間：創造事業完了後、**引き続く3年間**（最長）
- 補助額・補助率：1 町村につき **1億円**を上限
1年目：上限5,000万円(補助率3/4)、2年目：上限3,000万円(補助率2/3)、
3年目：上限2,000万円(補助率1/2)
- 補助対象事業：創造事業で対象とした事業から、更なる磨き上げにより、
島しょ地域の持続的発展と新たな価値の創造につながるもの
①取組の拡充 ②試行・実証→実施・実装 ③研究開発→事業化 など

	R4	R5	R6	R7
大島町・八丈島	① 創造事業			② 推進支援事業
新島村	① 創造事業			
利島村・神津島村・三宅村 御蔵島・青ヶ島・小笠原村		① 創造事業		

○ 各町村の取組状況

大島町

①創造事業：R6年度未完了

②推進支援事業：R7年度開始

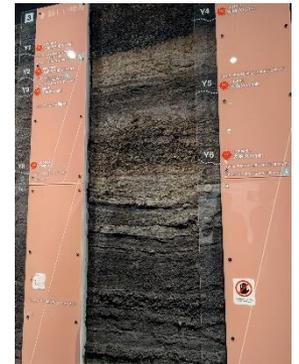
ジオパーク拠点等の整備

島しょ唯一の「日本ジオパーク」認定を強みに、島内外の人々の学びと交流の場を整備することで地域を振興

- ✓ 現状の火山博物館を一新、**新名称「ジオノス」**として令和7年7月1日にリニューアルオープン
- ✓ **プロジェクションマッピングやVR**等デジタル技術を取り入れた展示
- ✓ 今後、**ジオノスを拠点としたアクティビティやガイドツアー**等を造成



▲三原山滑走台を再現
上空から見た火口や噴火の痕跡、
地形の成り立ちを没入体験でき
るVRシアター



▲新たに剥ぎ取りをした地
層標本

八丈町

①創造事業：R6年度未完了

②推進支援事業：R7年度開始

DXによるスマートアイランド化

DXを活用した地域社会の基盤整備により、産業の強化・育成と島の魅力向上を図ることで、関係人口増加に繋げる

- ✓ クジラの子回遊状況を把握するAIモデルを構築し、観光客向けにWEBページに掲載
- ✓ **観光アプリの開発、エコツーリズム拠点整備**等を通じて新たな観光コンテンツに刷新
- ✓ 今後は各種取組の深化／デジタル技術の実装による地域社会の持続的発展性を向上させる



▲
◀新たに整備されたエコ
ツーリズム推進拠点（R7年
4月オープン）

○ 各町村の取組状況

新島村

①創造事業
：R7年度未完了見込

温泉ロッジ・ガラスアートミュージアムの整備

施設を中心とするエリアマネジメントにより、島外から人や企業を呼び込むための地域振興の拠点を構築

- ✓ 新島ガラスとコーガ石をモニュメントや施設内装等に使用し、**地域資源としてブランディング**
- ✓ ガラスアートミュージアムと温泉ロッジをリニューアルし、**観光拠点としてエリアマネジメント**



利島村

①創造事業
：R7年度未完了見込

オフグリッド型サステナブル住宅整備

住宅不足の解消と基幹産業の収益化・循環化で新たな移住者や担い手の確保を実現

- ✓ **中長期滞在型オフグリッド住宅の整備（水循環システム・太陽光発電設備）**
- ✓ **循環型農業の実現に向けた椿油副産物の活用実証事業**



神津島村

①創造事業
：R7年度未完了見込

星空保護区をコアとした観光のDX化

星空を中心に、DX化で天候や季節に影響されない観光産業を実現

- ✓ **星空体験エリア（よたね広場）、自然体験エリア（多幸湾）に多機能型コンテナハウスを整備**
- ✓ **星空ファンクラブコミュニティの構築により関係人口を創出・拡大**



三宅村

①創造事業
：R8年度未完了見込

火山と生きた歴史を刻む多機能型公園

噴火の歴史を前面に出したシンボリックな公園を整備し、島内観光のハブとして地域全体に観光効果を波及

- ✓ **火山景観・地形を活かし、シンボリックな公園やアクティビティ施設という、2つの観光拠点を整備**
- ✓ **ミュージアム機能やBBQエリア、フォトスポット等を設け、既存施設を含め、島内回遊性を高める**



○ 各町村の取組状況

御蔵島村

①創造事業
：R7年度未完了見込

島を支える人材創出と産業の活性化

島外人材と連携したまちづくり推進により、島内の賑わいと活力を創出

- ✓ 長期滞在型移住体験住宅、交流拠点、簡易宿泊施設を整備
- ✓ 島外人材と島内事業者をマッチングするWEBサービスの構築



青ヶ島村

①創造事業
：R8年度未完了見込

地域資源の高付加価値化事業

地域産業の高付加価値化で担い手や人材を確保し、島内の賑わいと活力を創出

- ✓ 製塩事業所のリニューアルとひんぎゃ（地熱釜）の高付加価値化
- ✓ ミュージアム機能を持つシェアハウスの整備



小笠原村

①創造事業
：R8年度未完了見込

エコツーリズム普及啓発拠点の整備

海洋研究・教育機能と普及啓発機能の向上により、エコツーリズム先進地として更なる価値を実現

- ✓ 小笠原海洋センターのリニューアル、デジタルコンテンツを活用した新たな展示
- ✓ エコツーリズム先進地として価値を高め、国内外から来島者を誘引



議 事

台風第22号及び第23号の被害と
宝島事業における復興に向けた
取組について



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS

台風22号及び23号の被害と宝島事業における復興に向けた取組について

○ 被害状況

- ✓ 台風22号・23号の接近に伴う暴風雨により、主に八丈町と青ヶ島村において被害が発生
- ✓ この間、**都は、島しょ町村等と緊密に連携を取りながら、応急復旧に取り組んできた**

令和7年11月27日 8時時点（11月28日東京都発表）

【人的被害】 報告なし

【住家被害】 調査済件数：八丈町約970件（調査中）、青ヶ島村15件

（罹災証明書交付件数（世帯））

	全壊	半壊	その他
八丈町	19	64	633
青ヶ島村	0	2	18

【農林水産業関係被害】 被害総額：約17.6億円

（八丈町17.3億円、青ヶ島村3,470万円） ※11月26日時点判明分

○ 島の本格復旧・復興に向けて

- ✓ 早期の住民の生活再建（住宅・学校施設など）を支えるとともに、観光・産業の活性化、インフラの本格復旧、防災対策の強化など、復興に向けた取組を町村と連携して推進することで、より魅力と活気あふれる島へと進化
- ✓ 関係局部長級による「復旧・復興調整会議」を設置し、各局が復旧・復興に向け実施する事業の一体的な進捗管理を行うとともに、事業の円滑な実施に向けて被災町村をサポート

台風22号及び23号の被害と宝島事業における復興に向けた取組について

○ 宝島事業における復興に向けた取組

補助を活用して八丈町が整備した「海・山・暮らし館」が被災

サステナ

八丈島の海・山・暮らし館

- ✓ サステナブル・アイランド創造事業補助金を活用し、八丈町が旧末吉小学校をエコツアーリズム拠点として整備した施設 ※令和7年4月オープン
- ✓ 台風の影響により、施設内部まで土砂が流入し、即時復旧は困難な状況



八丈町・青ヶ島村の産品事業者、チャレプロ事業者の事業進捗等に影響

ブランド/産品

方向性

- ✓ 島の本格的な復興に向け、宝島事業においても、地元町村や事業者の取組を支援し、観光をはじめとする産業の振興を後押し
- ✓ 町村からの要望や、関連事業者からの聞き取りにより、地元のニーズ等を把握
- ✓ 将来を見据えて、島の更なる魅力向上に繋がるよう、地元町村等と連携して取組を推進していく

議 事

東京宝島ブランドサポーターシップ
について



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS

東京宝島ブランドサポーターシップ事業

○ 目的

- ✓ 島しょ地域とZ世代をはじめとする若い世代とのつながり創出を目的として実施
- ✓ 都内大学生を島しょ地域の特産品事業者の下に実習生として派遣
- ✓ 都立大学、東京女子大学、國學院大学、多摩美術大学が参加
- ✓ 大学生が企画提案し、事業者とディスカッションのうえ、商品パッケージや情報発信等を具体化

○ 受入事業者

大 島：SHIMA STAY

- ✓ 大島の魅力を伝える「ジオツアー」を運営
- ✓ 活動内容：牛乳工場等をサイクリングで巡り、大島の魅力が伝わるツアーを発信など
- ✓ 8月25日～30日の6日間で現地実習

参加大学生：7名

國學院大：2名 多摩美術：1名
東京女子：3名 都立大：1名

利島：利島農業協同組合

- ✓ 利島産「椿油」の広報や販路開拓、生活必需品やお土産等も販売
- ✓ 活動内容：ツバキの端材を使った新たな加工品や使い方を企画
- ✓ 8月25日～30日の6日間で現地実習

参加大学生：6名

國學院大：2名 多摩美術：2名
都立大：2名

八丈島：エンケルとハレ

- ✓ 「ゆーゆー牧場」のミルクを使用したナチュラルチーズを製造・販売
- ✓ 活動内容：ピザ作り体験等を通じ、八丈島の食文化と融合した新たな観光価値を生み出すコンテンツを開発
- ✓ 8月26日～31日の6日間で現地実習

参加大学生：7名

國學院大：1名 多摩美術：1名
東京女子：3名 都立大：2名